

H 2 1 千葉県中学校総合体育大会 バスケットボール競技 総評

千葉県中学校総合体育大会 バスケットボール競技は7月28日・29日には千葉県総合スポーツセンター体育館、千葉県スポーツ科学総合センター体育館、千葉公園体育館で、そして最終日の30日にはメイン会場の船橋市総合体育館に場所を移して熱戦が繰り広げられた。

男子は第1シードの船橋中が2回戦で塩浜中に敗れ、その塩浜中に勝ち上がった習志野五中(習志野)がベスト4に進んだ。他には準々決勝で大逆転を演じた一宮中(長生)、新人・選手権共にベスト4の大和田中(八千代)、選手権大会決勝で惜しくも涙を飲んだ葛飾中(船橋)がベスト4に進出した。

準決勝の習志野五中对一宮中、大和田中对葛飾中はともに好ゲームが展開されたが、春の選手権の悔しさを晴らしたい習志野五中と、選手権準決勝のリベンジを果たした大和田中が勝ち上がり、2年連続で決勝戦は同じ顔合わせとなった。また、最後まで諦めない粘り強いディフェンスを見せてくれた一宮中や、高い個人技とシュート力でスピーディーなバスケットを展開した葛飾中は、ともに破れはしたが素晴らしい好チームであった。

決勝戦は、共に高い運動能力を持つチーム同士の決戦となったが、習志野五中の安定感のあるシュートが1試合を通して崩れることが無く、徐々に大和田中を引き離していく。大和田中もインサイドの合わせを中心にオフェンスを組み立て反撃するが、習志野五中の巧みなディフェンスを崩すことができず、勢いに乗った習志野五中が2年連続の優勝を決めた。

女子はベスト4にシード校が順当に勝ち進み、準決勝は選手権の覇者で第1シードの市川四中(市川・浦安)対ドライブを得意とする畑沢中(木更津・袖ヶ浦)、もう一試合はオールコートでスピード感のあるバスケットを展開する福田中(葛北)対春の雪辱を晴らしたい昭和学院中(市川・浦安)の対戦になった。両試合とも序盤は僅差の試合展開となったが、決勝進出を決めたのは市川四中と昭和学院中となり、女子も2年連続で総体の決勝戦は同一カードとなった。素早いパス回しからシュートチャンスを作り出した畑沢中のオフェンスや、足を使って必死にボールを追いかける福田中のディフェンスも総体最終日に勝ち上がるにふさわしいプレーであった。

決勝戦は出だしこそ市川四中がリードをするものの、昭和学院中もディフェンスのプレッシャーを強め前半を昭和学院中が1点リードで折り返す。後半に入っても一進一退の攻防がくり広げられ、延長にまでもつれる。最後は昭和学院中がバスケットカウントを決め、白熱した戦いに決着をつけ、3年連続10回目の優勝を飾った。

男女ともに総体の上位2校は、8月7日から山梨県富士吉田市で開催される関東大会に出場し、全国大会出場を目指す。ここ数年は千葉県勢が関東大会でも活躍し、全国大会に駒を進めている。今年度も男子の習志野五中、大和田中、女子の昭和学院中、市川四中の活躍を大いに期待したい。

尚関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議が行われるので、決まり次第、千葉県バスケットボール協会のホームページに掲載します。

文責 千葉県小中体連バスケットボール専門部
副委員長 大橋 哲治(平川中)

年間ランキング (H 2 0 新人戦 ~ H 2 1 総体)

	(男子)	(女子)
第1位	船橋市立船橋中学校	昭和学院中学校
第2位	習志野市立第五中学校	市川市立第四中学校
第3位	八千代市立大和田中学校	木更津市立畑沢中学校
第4位	船橋市立葛飾中学校	野田市立福田中学校

H 2 0 千葉県県選抜選手 (県総体の閉会式で表彰がありました)

(男子)				(女子)			
佐々木悠太(富里南)	徳永 滋紀(習志野五)	西澤 瑠乃(畑 沢)	本吉 愛実(畑 沢)				
渡邊 清大(大和田)	後藤 諒太(佐 原)	時田 真菜(船 橋)	岡田 彩(野田南部)				
岩本 健太(船 橋)	田代 将也(大和田)	鏡 亜矢子(昭和学院)	坪内 瑠愛(畑 沢)				
中川 拓海(習志野五)	稲垣 佑樹(御 滝)	芳賀 成美(昭和学院)	小川 美紀(銚子三)				
塚田 司(船 橋)	秋山 遼弥(習志野五)	小出 沙樹(市川四)	岡村 祐希(市川四)				
竹島 準(塩 浜)	中島 健太(銚子七)	渡邊 千絵(宮 本)	内田 瑠(昭和学院)				